【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	言語
機野信策、渋谷直樹	開講時期	前期	必修·選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## 【概要】

「構音障害 | (機能)、 || (器質)、 || (運動)」で学んだ基礎知識を基にして、検査と診断、治療の技法を身につける。

具体的には、構音障害患者の録音・録画教材を用いて模擬的に構音検査を実施し、記録・評価表の作成、情報収集、診断・指導訓練プログラ 立案の過程を学修する。立案した指導プログラムに従い、実際に訓練教具を操作しながら学生どうしで模擬訓練を行うことを通して指導の冥 を修得する。

## 【学習目標】

- 1. 構音障害治療の全体の流れを把握する
- 2. 構音検査法と情報収集方法を習得し、診断、評価ができる。
- 3. 訓練・指導プログラムの立案ができる。
- 4. 訓練・指導を実施することができる。

<u> </u>					1		
回		授業計画又					
数		Social mission of the company					習課題又は備考・担当教員
1,2	構音障害の治療の流れ	初診から終了までの過程				講義	磯野
	構音検査法	構音検査の目的、種類、方法					
		構音の表記法	己法				
	情報の収集	診断と治療に必要な情	断と治療に必要な情報とその収集方法				
3	診断法	    構音障害を正しく診断し治療プログラムを作成するための方法を知り、			2,3	講義と演習	磯野
!		実行できる。					
4	訓練・指導法(1)	小児の構音障害における「耳の訓練」の技法を修得し実施できる。			4	講義と演習	磯野
5	訓練・指導法(2)	  各音韻の構音誘導方法を修得し実施できる。 			4	講義と演習	磯野
6	訓練・指導法(3)	異常構音の治療方法を習得し実施できる。				講義と演習	磯野
7	訓練・指導法 (4)	運動性構音障害の訓練	方法を修得し実施でき	4	講義と演習	渋谷	
	【使用図書】   <書名>			<著者名>		発行所>	<発行年・価格・その他
		構音障害の臨床		阿部雅子著	金原出版		2003年・2520円
		言語聴覚士のための運動障害性構音障害		廣瀬肇他著	医歯薬出版		2001年・5000円
参考書 構音障害の指導技法 機能性構音障害		講音障害の指導技法 浮		湧井 豊	学苑社		1992年・3500円
		機能性構音障害	本間慎治編著		建帛社		2000年・2400円
	その他の資料	随時プリントを配布す	る。				
【評価方法】		【履修上の留意点】					
出席、レポート、試験などを総合して判定							
する	o						
			L				